

もみの木こども園の上棟式の餅まきに参加した園児ら(提供写真)



各企業等の社会貢献活動

上棟式の雰囲気味わって

東海建設 園児招き餅まき

【室蘭発】東海建設(株)（室蘭、中田孔幸社長）は13日、現在進めている「仮称・もみの木こども園新築工事」現場に園児や関係者を招き、上棟式のうちの餅まきを開催した。園児らに、建築工事で日本に古くから伝わる伝統行事の一端を体験してもらいたいと

考え企画した。園児たちはまかれた紅白の餅を拾い集めるとともに、プレゼントをもらうなど、楽しい時間を過ごした。

仮称・もみの木こども園の規模は木造平屋建て延べ807平方メートル。建設地は登別市新生町3丁目13-3。幼保連携型の認定こども園で、0〜5歳児を対象に、来年4月の開園を予定している。

施主は社会福祉法人彩咲会（石井俊隆理事長）。設計監理は（株）創建社（札幌）、施工は東海建設。

東海建設は、これまでも地域の保育園や幼稚園の建設工事に携わっており、



今回が7棟目。ことし9月17日に創立60周年を迎えたことから、地域への恩返しを兼ねて、地域貢献活動の一環として、子どもたちに建築工事に関

● (仮称) もみの木こども園新築工事 上棟「餅まき」 新聞記事

開催日 : 令和5年12月13日 (水)

左 : 室蘭民報

右 : 北海道通信

下 : 北海道建設新聞

紅白餅まき 園児大喜び

もみの木こども園 完成願い 上棟式 登別

【登別】2024年4月の開園を目指す「(仮称)もみの木こども園」で13日、工事の安全と完成を願う上棟式が登別市新生町の同園建設現場で行われた。子どもたちは伝統の「餅まき」を楽しんだ。

同園は、市の公立保育所民営化方針に基づき、栄町保育所(小林しげ美所長)を民営化するため整備される認定こども園。同園の工事を施工する東海建設(室蘭市、中田孔幸代表取締役)が9月に創立60周年を迎えたことから、地域への恩返しを兼ね、建設工事に関する古くからの行事を体験してもらおうと餅まきを企画した。

栄町保育所の園児約50人が参加。同園を運営する社会福祉法人彩咲会(富岸町の石井俊隆理事長、工事の設計・監理を担当する創建社(札幌市)の吉田勝彦専務取締役、東海建設の菊地健一専務取締役の3人が屋根の上から用意した紅白の

こども園新築で上棟式 東海建設 園児招き餅まき



わる古くからの行事の一端を体験してもらおうと、上棟式の際の餅まきを企画した。東海建設の社員らは

子ども園に入園する予定の園児を含む栄町保育所の園児や関係者約60人が参加した。東海建設の社員らは

社員デザインの法被を着て出席。東海建設の菊地健一専務取締役、石井理事長、創建社の吉田勝彦専務取締役が登壇し紅白の餅をまいた。園児は歓声を上げて、餅を拾い集めた。

また、園児には菓子や縁起物を袋に詰めたおみやげを用意。園児からは、額に入った園児の描いた絵をプレゼントした。

菊地専務は「日本の伝統行事を子どもたちに体験してもらえれば」と話した。

上棟式の餅まきは、9月に創立60周年を迎えた東海建設が企画。地域への恩返しを兼ねて、子どもたちに建築に関わる行事を体験してもらいたいと考えた。

東海建設の菊地健一専務、新築の設計を担う創建社の吉田勝彦専務、彩咲会の石井俊隆理事長が屋根部分から餅をまき、子どもたちが拾い集めた。餅まき終了後にはお菓子の詰め合わせを贈った。菊地専務は「餅まきという伝統を子どもたちに知ってもらえたら」と話した。

【室蘭】東海建設(本社・室蘭)は13日、社会福祉法人彩咲会(本部・登別)の仮称もみの木こども園新築現場で上棟式を開いた。栄町保育所の園児51人を招いて餅まきをし、会場は笑顔に包まれた。

登別市は公立保育所民営化の一環で栄町保育所の移転を計画。これに合わせて彩咲会が整備・運営事業者として幼保連携型認定こども園を新築する。新園舎は新生町3丁目13の3にW造、平屋、延べ806平方メートルの規模

子どもたちがまかれた餅を拾い集めた

で建設し、2024年2月29日の完成を目指して

工事入札資格審査 24年2月申請受付

室蘭市

【室蘭】室蘭市は、2024〜26年度の建設工事等競争入札参加資格審査申請を24年2月1〜20日に受け付ける。持参か郵送(当日消印有効)。中間年のため、新規や業種の追加が対象となる。

申請書は市町村統一様式と市独自様式の併用。工事の主な要件は経営事項審査で2カ年の完工高があること。測量・設計等は1年以上営業し、法に定める登録を受けていることなどを求める。

提出・問い合わせは総務部総務課契約検査係(工事担当)、電話0143(25)2125まで。

餅をまくと、園児は「お餅喜ぶ姿が見られて何よりだ」「取れたよ」と歓声を上げながら寒空の中、元気に拾い集めた。その後、園児に袋詰めのお菓子をプレゼント。餅を拾えなかった子どもにも笑顔が広がった。

準備を進めた東海建設餅まきプロジェクトのスタッフは「子どもたちの笑顔で成る予定だ。」(北川誠)